

宮城野区部会共催事業紹介



宮城野区中央市民センター

R4年 ホームページが新しくなりました。



仙台市嘱託社
会教育主事研
究協議会

ホーム


▼ 各部の活動

各区事業報告

活動ブログ

設置要綱と規約につい
て

仙台市嘱託社会教育主事研究協議会

「スマイル☆ワンデイキャンプIN2025」 

お知らせはこちらから



嘱託社会教育主事とは？

仙台市では、仙台市立学校に勤務し社会教育主事の資格を有する教員に対して、仙台市教育委員会が**社会教育主事を委嘱する制度**があります。委嘱された教員は、「嘱託社会教育主事」と呼ばれ、学校教育に携わりながら社会教育主事としての専門性を発揮し、社会教育活動を推進します。

この制度は、昭和 46 年から続く全国的にも珍しい**仙台市独自の制度**です。令和 3 年度に、発足 50 周年を迎えました。

主な活動について

嘱託社会教育主事は、以下のような活動に取り組んでいます。

◆ 勤務する学校における、地域連携・協働を推進するための活動

【重点活動】

◆ 中高生ボランティアである「ジュニアリーダー」の育成・支援

◆ 子ども会のリーダーを育てる「インリーダー研修会」の講師

◆ 「楽学プロジェクト」「仙台市 はたちの集い」などの生涯学習事業への協力

◆ 市民センターにおける様々な講座の企画や実施

仙台市嘱託社会教育主事研究協議会グランドデザイン



【設置要綱】 社会教育と学校教育との密接な連携を図ることにより、本市の社会教育の振興に資するため、教育委員会に嘱託社会教育主事を置く。

【研究協議会設置の目的】

本会は、会員による意見交換、協議等を通じ、本市の社会教育に関する調査研究及び事業を行うことにより本市の社会教育行政の発展に寄与することを目的とする。

【目的達成のために行う事業】

1. 所属校での地域連携・協働の推進
2. 学校支援のための事業への協力
3. 市民センターとの共催事業
4. 地域における社会教育関係団体の育成及び援助
5. 会員の研修のための事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

重点事業

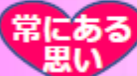
【本市における今後の社会教育行政】

◆仙台市教育構想2021

<第3章「市の取組状況と課題」より>
社会全体で子供を育てることは、児童生徒への多様な体験機会の提供や、家庭での安心感、地域での生きがいの創出など、参画する各主体にとっても様々な効果が期待されます。地域のつながりや家庭の教育力の低下が指摘される中では、「地域とともに歩む学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を念頭に、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図っていく必要があります。

【国の動向】 ◆新学習指導要領の全面実施

<学習指導要領 前文より>
教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会と創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようになるのかを教育課程において、明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。



- ・自ら社会教育のおもしろさを体験する
- ・子供たちの豊かな学びと居場所づくりを推進する人材を育成する

令和6年度～令和8年度 重点目標

学校・家庭・地域が協働して子供を育てる体制づくりの推進
～所属校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組を通して～

所属校での活動

★それぞれの立場においてできることに取り組む★

- 【立場】 管理職、地域連携担当教員、その他（地域連携担当教員支援者等）
【取組】 コミュニティ・スクール、学校支援地域本部、協働型学校評価、社会教育事業連携、社会教育関係団体支援等 ※活動例は裏面

生かす

【社会教育主事としての専門性】 見方・考え方、人とのつながり、手法、情報等

広報部

mission
活動の実際を広く発信する

- <活動例>
・「歩」発行
・HP管理

研修部

mission
会員の資質・能力の向上を図る研修会を企画運営する

- <活動例>
各種研修会企画・運営
「事後研修会」等

地域連携部

mission
地域連携・協働に関する調査研究を行う
(市教委との連携)

- <活動例>
コミュニティ・スクールにおける活動の集約
・実績による効果の検証

指導者養成部

mission
JL育成・支援を通して子供の自主性を育てる

- <活動例>
・JL中級・上級
・実践研修会
・スマイルキャンプ
・実行委員会準備

専門部
会員としての専門的な活動

五区事業部

会員としての基礎的な活動

mission

事業の企画運営を通じて、実際の社会教育を学ぶ

青葉区・宮城野区・若林区・太白区・泉区

- <活動例>
・インリーダー研修会・JL初級研修会
・地域学校連携事業
・所属校での取組の情報交換等

宮城野区部会の概要（令和8年度の状況）

校種	人数	(管理職数)
小学校籍	18名	(6名)
中学校籍	5名	—
高校籍	2名	(1名)
合計	25名	(7名)

人事異動に伴い
昨年度より
7名少なくなった

【年間活動】

5月 第1回事業検討会

6月 学びの連携研修

8月 ジュニアリーダー初級研修会

9月 第2回事業検討会

10月 体験事業(生き物観察会)

12月 第3回事業検討会

1月～ インリーダー研修会

2月 第4回事業検討会

事業検討会 (年間4回実施)



10月行われる体験活動の
講師による事前研修も実施
NPO法人カワラバン 菅原さん



4つの事業内容の検討

- ・研修会のグループワークについて
- ・体験活動の活動場所や活動内容について

6月 学びの連携研修

参加者97名の研修会を運営

区役所からも情報提供あり
R7年度は地域力推進担当課長より
家庭健康課より



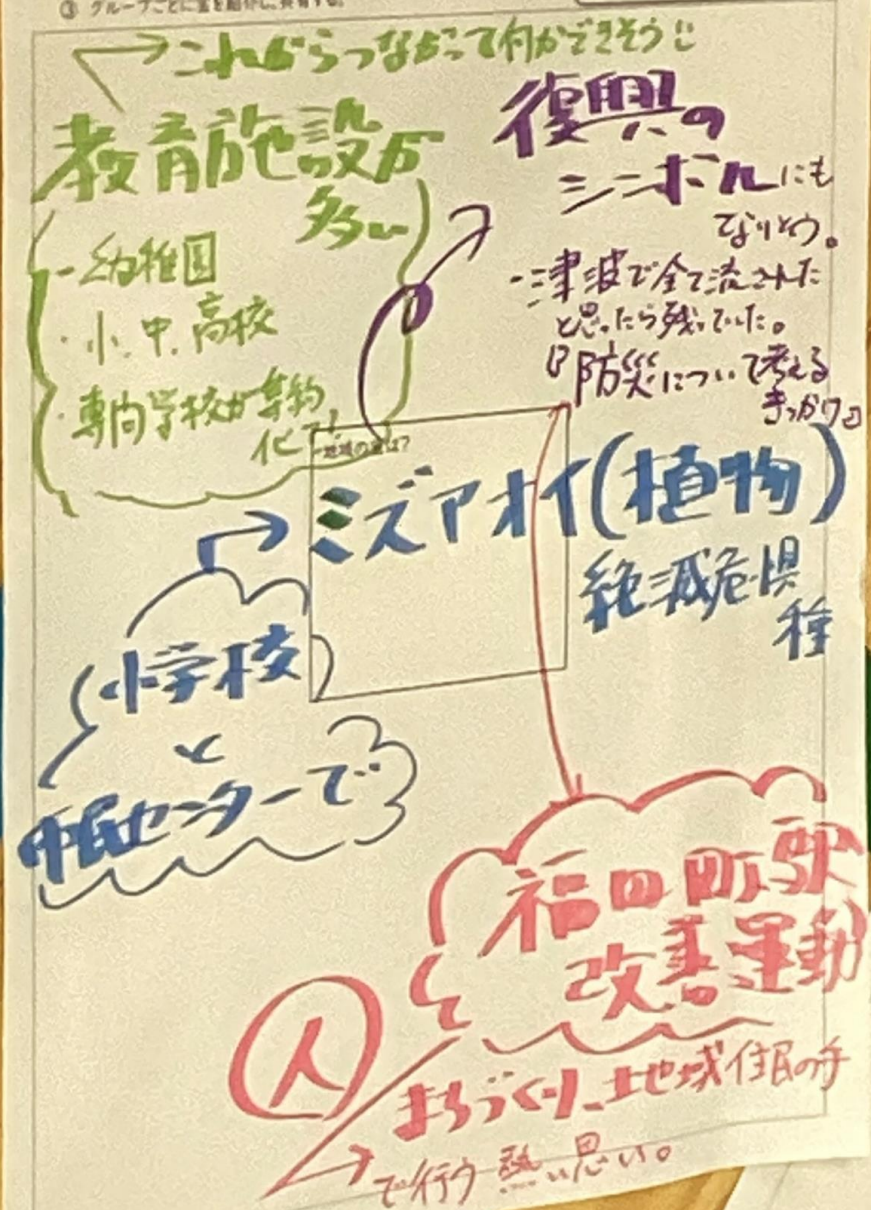
地域の宝を活かした
学校・市民センター・SVなど
連携の検討をコーディネート

グループワーク テーマ「私たちの地域の宝は??」

宝は地域の「ヒトモノコト」など、団体が活用しているもの

- ① 自己紹介(所属・氏名)、宝の候補と、団体が宝をどのように活用しているかを紹介する。
- ② 挙げられた宝に対し、共通で取り扱えるものがあるかどうかを探る。
- ③ グループごとに宝を紹介し、共有する。

近年の資料があれば、更に深める または 新聞で見聞



地域名 (**榴ヶ岡**) でやってみようかな!?

★	タイトル	ワイワイまわりをバージョンアップ!!
いつ (時期は)	どこで (場所は)	12/14
それが 誰か (実施する人)	なにを (活動内容)	榴岡小学校 珠中高校 (PIA・生員)、社会学級、 愛好会、生涯学習センター & 市民会館 珠中高校、 子供会
★	なぜ (やる理由) (やる良さ)	様々な立場の様々な人が 加って行かれる。
	どのように (手段・やり方)	

8月 ジュニアリーダー初級研修会

各研修の講師として活躍
R7年度は7名の先生方が担当



10月 体験事業

(参考資料) 過去 10 年の活動月と活動内容・活動場所

開催日	内容	活動場所
平成28年～令和元年 7月中旬	七北田川でEボートに乗ろう!	七北田川・岩切大橋下
令和2年～令和4年 10月中旬～下旬	貞山堀でハゼ、ゲットだぜ!	海岸公園(センターハウス)・ 貞山堀
令和5年～令和7年 10月中旬	蒲生干潟生き物観察会	蒲生干潟

講師 カワラバン
代表 菅原さん

H27年から
Eボート、ハゼ釣り、蒲生干潟生き物観察会
R8年度で12年目の講師依頼

10月 体験事業

R7年度は15名の
嘱託社教の先生方が
朝8:30から準備と運営に携わる

参加者	小学生 18名
嘱託社教	小学校籍 13名 中学校籍 2名



↑受付の様子























1月～2月 インリーダー研修会



指導のプロである嘱託社会教育主事と連携する良さ

- こどもの扱いに慣れている。
- こどもたちに安心感を与えられる。
- 大人(親)との関わり方も上手。
- 話し合いや活動を円滑に進められる。
- 学校と連携がしやすい。

⇒ 広く開かれた社会教育の現場で大活躍！

おまけ①

チーム「ニコ鶴」プロジェクト

企画員は鶴谷中学校の有志生徒



地域のマルシェに参戦
地域を盛り上げる！
地域に貢献する！



おまけ①

チーム「ニコ鶴」プロジェクト
地域に笑顔をお届け
「ニコ鶴運動会」を開催

- ・ストラックアウト
- ・ハイハイレース
- ・ボウリング
- ・お化け屋敷

R8年度からは
企画員の幅を広げて
「ニコニコ！地域もりあげ隊」
としてリスタート





おまけ②

榴岡かいわい
学びのコミュニティ
づくり推進委員会

つつじがおか
ワイワイまつり





おまけ②

Q11

Q 榴岡公園には春にたくさん
の花がきます。それはなぜか①~③
のうちどれでしょうか？

- ① たくさんのお花を見るため
- ② つつじの花を見るため
- ③ 遊具で遊ぶため



心から心へ

つづがおか
ワイワイまつり

